



株式会社スリー・ディー・マトリックス
～ A Medical Technology Company ～

2013年4月期決算説明会資料

2013年6月

目 次

1. 2013年4月期決算概要
2. 2014年4月期決算見通し
3. 事業進捗状況
4. 中期経営計画
5. ご参考(企業概要等)

1. 2013年4月期決算概要

2013年4月期連結決算概要

単位:百万円

	2013/4 (実績)	業績 修正 (2013.4)	業績 予想 (2012.4)	2012/4 (前期実績)
事業収益	32	32	2,491	1,107
事業費用	1,031	1,109	1,902	753
営業利益	△999	△1,077	589	354
経常利益	△977	△1,069	583	309
当期純利益	△978	△1,070	529	308

●事業収益: 止血材(TDM-621)の国内での製造販売承認取得時期が次期の予定となり、関係するマイルストーン収入/製品販売が次期の計上となる。

●事業費用: 販管費等の削減効果により、計画比からは圧縮の効果

貸借対照表の状況

- 現預金は運転資金含め借入金で手元資金を強化
- 棚卸資産の増加はペプチド原材料の購入による影響

	2013/4末	2012/4末	増減
現金及び預金	2,033	1,757	+275
売掛金	-	532	△532
棚卸資産	260	25	+235
固定資産	536	554	△17
資産合計	3,020	3,054	△34

単位：百万円

- 負債増加は主に銀行からの借入金の増加による影響

負債	954	166	+787
純資産	2,065	2,887	△822

単位：百万円

キャッシュ・フローの状況

- 想定した事業収益が来期にズレ込み、営業CFはマイナス拡大
- 財務CFは低金利借入を実行、現金ベースでの事業資金は十分に確保

単位:百万円

	2013/4末	2012/4末	増減
営業活動キャッシュ・フロー	△656	△131	△525
投資活動キャッシュ・フロー	△55	△99	+44
財務活動キャッシュ・フロー	983	1,399	△416
現金・現金同等物	2,033	1,757	+275

- 製品化に向けた原材料の調達
- 運転資金の効率的な調達(三井住友銀行との間で貸出コミットメント契約を延長)

決算：事業ハイライト①

事業関連

事業進捗

- 2012年7月 :JP 「国立がんセンターとの共同Project、補助金採択」
骨肉腫を対象、骨肉腫の「がん幹細胞」を制御する核酸医薬のDDSに使用
- 2012年9月 :JP 「扶桑薬品工業・科研製薬間の販売提携」
止血材の2社併売による販売強化
- 2012年10月:Asia「シンガポールに子会社設立」
アジア事業展開の拠点
- 2013年2月 :US 「止血材の米国FDAへのIDE申請」
米国での市場規模は1,000億円程度と推計、米国販売提携先を探索中
- 2013年3月 :JP 「国際標準規格ISO13485を取得」
止血材の海外販売に向けた製造販売管理体制及び品質保証体制の整備
- 2013年5月 :EU 「欧州CEマーク取得申請」
止血材の欧州早期投入
- 2013年5月 :Asia「止血材のインドネシアでの独占販売権を許諾」
3DMAAsiaを中心に東南アジアにも販売エリア拡大を目指す

決算：事業ハイライト②

特許関連

登録特許

- 2012年9月 :JP 「軟骨細胞培養の特許取得(MIT)」
再生医療領域 - 自己組織化ペプチドを足場にして軟骨細胞を培養する方法とその応用特許
- 2012年9月 :JP 「修飾ペプチドの特許取得(MIT)」
再生医療領域 - 従来の自己組織化ペプチドと比較し、骨組織、皮膚組織、心筋組織、神経組織の細胞の生育に高い効果
- 2012年11月:EU 「心筋組織再生の特許取得(US子会社)」
再生医療領域 - 心不全の原因となる虚血性心疾患、不整脈、先天性心疾患などの患者様の心筋組織を効果的に保護・再生
- 2013年5月 :JP 「肝臓・膵臓再生の特許取得(岡山大学・当社)」
再生医療領域 - 自己組織化ペプチドによる3次元足場環境下で肝細胞もしくは膵島を培養することの有用性が示される

2. 2014年4月期決算見通し

2014年4月期通期見通し

製品販売による事業収益の拡大

単位:百万円

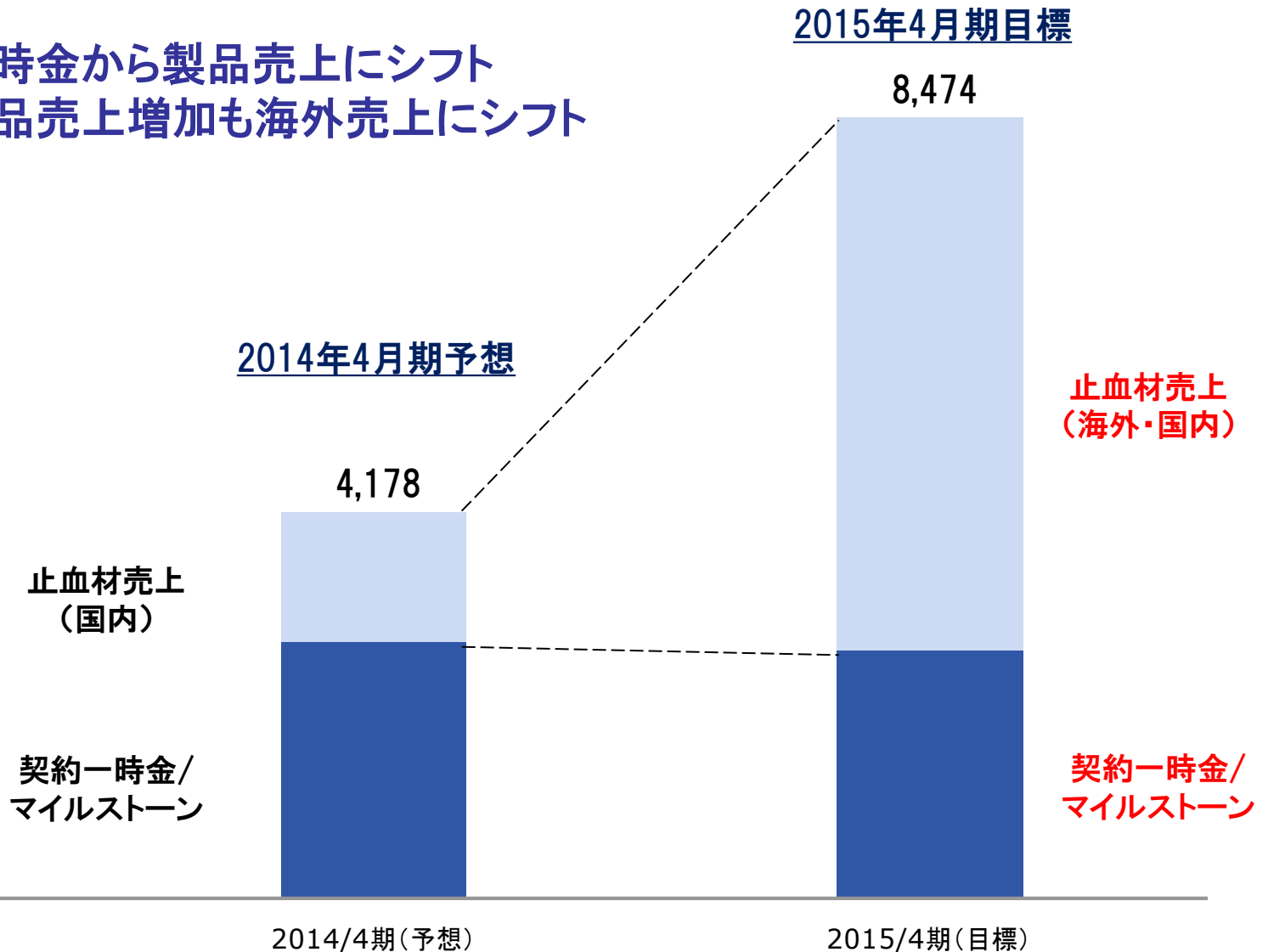
	2014/4 (計画)	2013/4 (実績)	増減
事業収益	4,178	32	+4,146
営業利益	1,658	△999	—
経常利益	1,646	△977	—
当期純利益	1,491	△978	—

- 事業収益:主に止血材のマイルストーン収益、製品販売売上を予定
- 事業費用:従来の研究開発費に加え欧米での止血材開発費用を前倒しで計画
販売費及び一般管理費については、海外での事業拡大分を見込む

事業収益の動向イメージ

単位:百万円

2014/4:一時金から製品売上にシフト
2015/4:製品売上増加も海外売上にシフト



3-D Matrix, Ltd

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

今後想定されるイベント

止血材関連

国内

- 製造販売承認の取得
- 製造販売承認取得に伴うマイルストーンペイメントの受領
- 止血材製品の販売パートナーへの卸販売開始
- 特定保険医療材料として償還価格の承認・決定
- 止血材製品の上市

海外

- アジアでの製造販売承認取得に伴うマイルストーンペイメントの受領
- 欧州でのCEマーク取得、保険取得に向けた治験開始
- 米国での治験開始
- 中国での開発に着手
- 欧米での販売パートナーとの提携

その他パイプライン関連

- 歯槽骨再建材の初期結果を踏まえたFDAとの協議
- 粘膜隆起材の治験計画届申請、治験開始
- 創傷治癒材の開発着手

3. 事業の進捗状況

開発パイプラインの進捗(新パイプライン+新エリアの拡充)

領域	開発群	地域	研究/試験	前臨床試験	臨床試験 (治験)	製造販売 承認申請	製造販売 承認取得	保険 収載	上市
外科	吸収性 局所 止血材 (TDM-621)	日本	製造販売承認の審査中 2013年度中に承認見込み						
		韓国	承認申請準備中						
		台湾	承認申請準備中						
		US	IDE申請済み、製品上市(2014年度目標)						
		EU	CEマーク申請済み 販売拡大(2015年度目標)						
		中国	治験準備中、製品上市(2016年度目標)						
	粘膜隆起材 (TDM-641)	日本	治験計画届の申請準備中、製品上市(2015年度目標)						
再生	血管塞栓材 (TDM-631)	日本	基礎試験済						
	歯槽骨再建材 (TDM-711)	US	治験実施中						
	創傷治癒材 (TDM-511)	US/EU	前臨床試験中						

3-D Matrix, Ltd

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

主要パイプラインの進捗状況

● 吸収性局所止血材（TDM-621）

販売体制

- ・扶桑薬品工業と科研製薬との準独占販売契約が正式に締結

2012年9月に契約締結、同一製品の2社併売体制が確立し、承認後のコ・プロモーション、販売力の強化

管理体制

- ・品質マネジメントのための国際標準規格(ISO13485)認証を取得

2013年3月に取得、製造販売管理・品質保証管理体制の保証
国際規格であり、今後の海外輸出に向けた供給体制を構築

製造体制

- ・扶桑薬品工業（製造委託先）での製造ライン完成

製造ライン構築に合わせ、販売に向けたペプチド原材料の購入済み

TDM-621の製造ライン構築



ロボットアームによる工程の自動化



扶桑薬品工業(株)城東工場
高品質・安定的な製品供給

大ロット生産体制の構築



当社のビジネス・パートナー

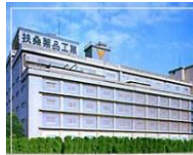
販売パートナー: 扶桑薬品工業と科研製薬との販売提携締結 インドネシアでの販売提携締結

ペプチド製造

ペプチド合成専門メーカー
CPC Scientific (USA) 等、世界に3社

完成品製造

シリンジへの充填工程
扶桑薬品工業(大阪市)



ロジスティクス

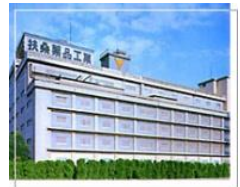
商社機能
伊藤忠ケミカルフロンティア
(東京都)



販売パートナー

扶桑薬品工業(大阪)

- ✓ 最終製品の仕切り販売
- ✓ 最低購買金額の保証(10年間)
- ✓ 承認取得直後の購入額について合意



科研製薬(東京)

- ✓ 扶桑薬品工業と販売提携合意
- ✓ 外科領域の営業力・ノウハウ



(韓国)

Daewoong Pharmaceutical

(台湾)

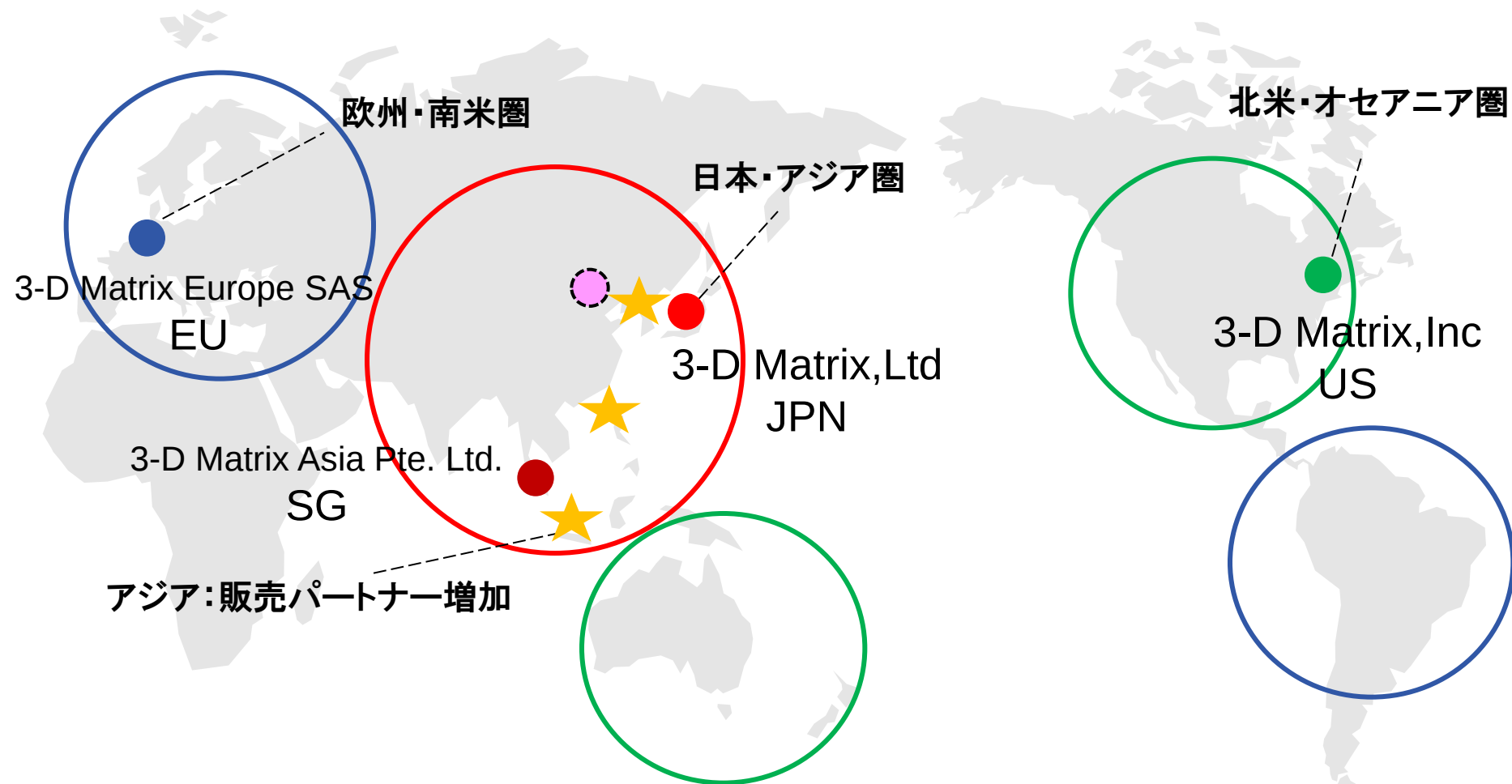
Excelsior Medical

(インドネシア)

PT.Teguhindo Lestaritama

3極体制で行うグローバル展開

ICHを駆使した薬事承認+KOL連携+販売パートナー戦略
3極体制でグローバルエリアをカバー



3-D Matrix, Ltd

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

4. 中期経営計画 (2014年4月期～2016年4月期)

中期経営計画の施策

国内止血材製品からの収益を早期に最大化

- 承認取得、販売開始(2013年度)
- 販売体制の強化
- 高付加価値を反映した保険収載価格

欧米の巨大市場へのアプローチ

- 欧米での有力施設・KOL(Key Opinion Leader)との連携、治験実施
- 欧米での販売提携の推進
- 欧州でCEマーク取得、拠点拡充、開発準備
- 欧州各国での保険収載準備、治験開始

パイプラインの拡大・拡充

- 外科領域での周辺分野での事業機会をさらに模索
- 米国での歯槽骨再建材の開発成果を受けた、組織再生領域への進出
- 再生領域で創傷治癒材の開発を本格化

中期経営計画①(事業収益・利益)

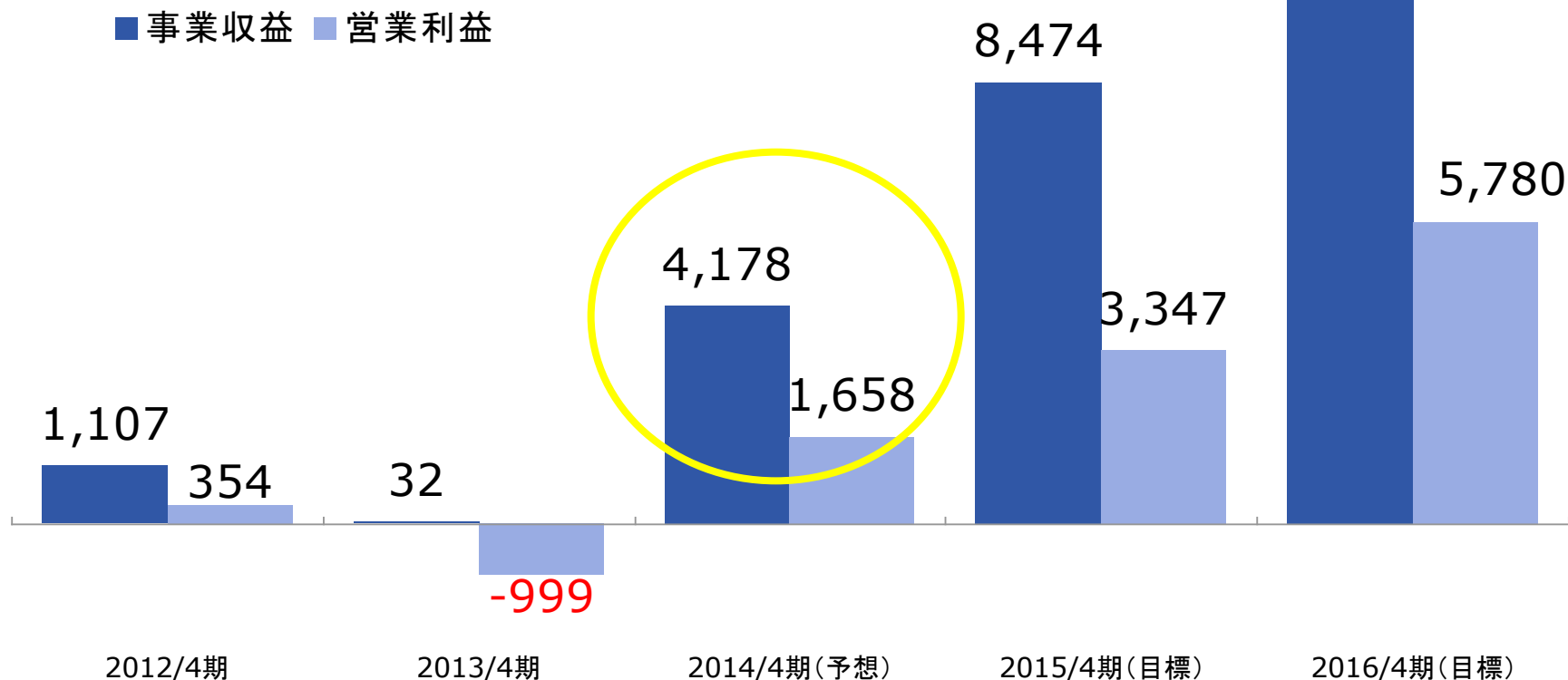
2014/4～2015/4

止血材の2社併売による国内販売、海外エリアの拡大
欧米市場への早期参入に向けた開発加速期(開発前倒し)

単位：百万円

2015/4～2016/4

国内外でのパイプラインが上市、利益拡大期



3-D Matrix, Ltd

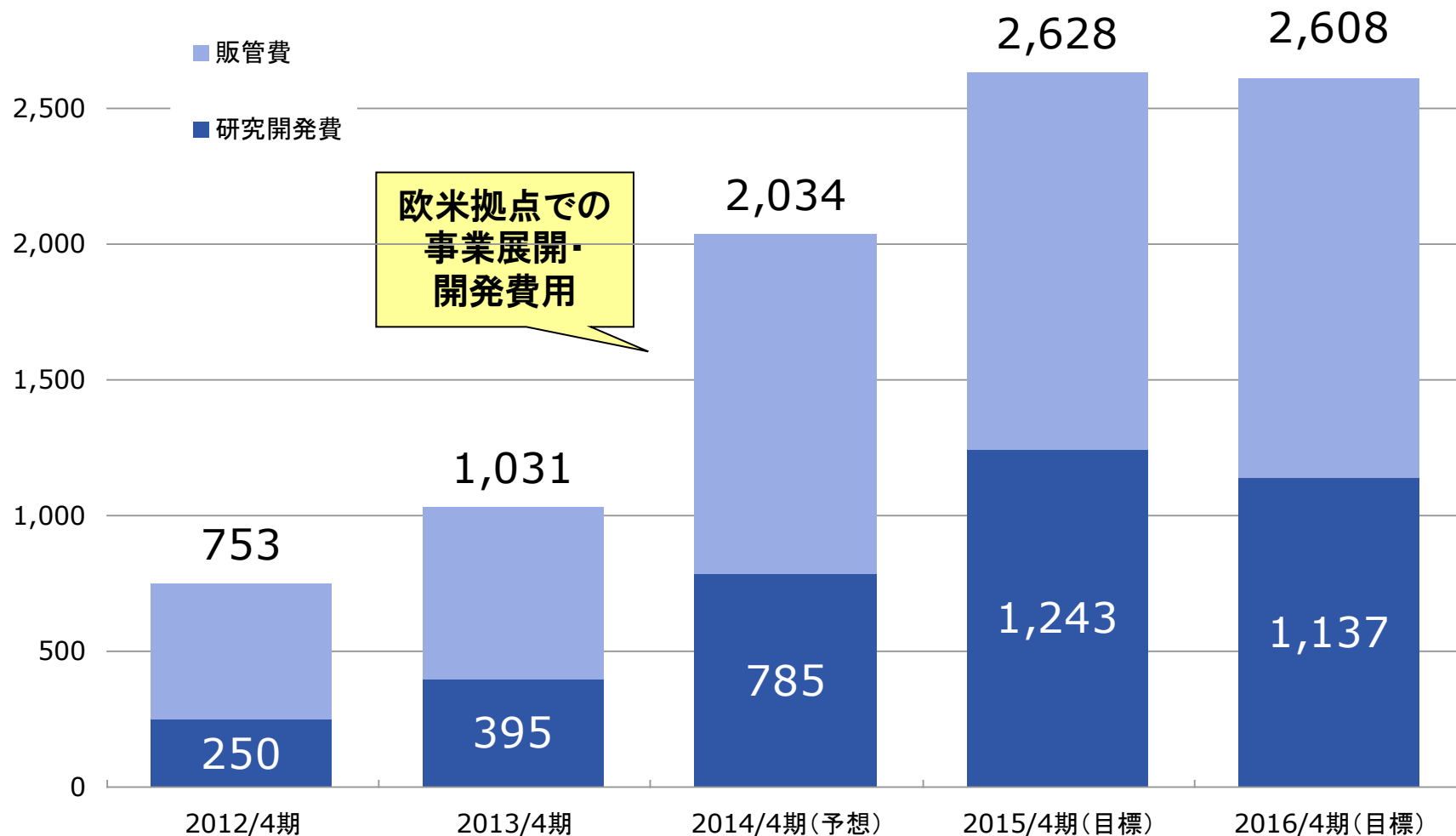
This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

中期経営計画②(R&D・費用)

販管費:2013/4期に海外展開準備、2014/4期より欧米展開が本格化

研究開発費:2014/4～2015/4期に欧米での臨床試験実施

単位: 百万円



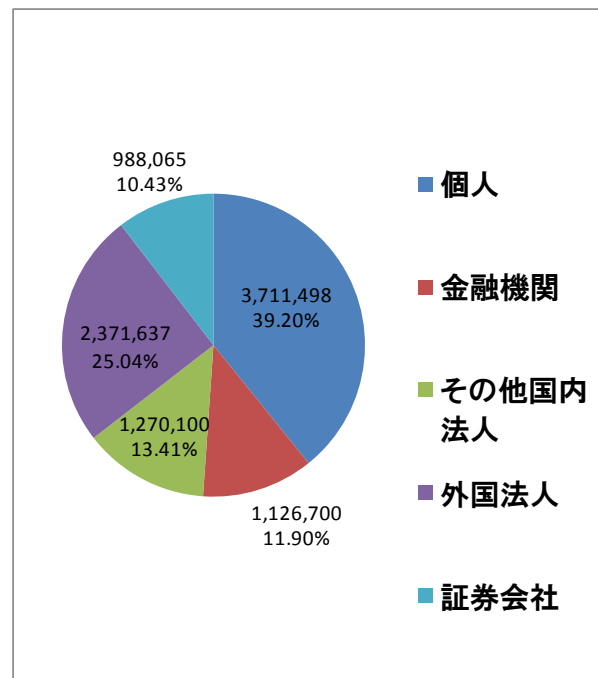
3-D Matrix, Ltd

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

株主数・株主構成(2013年4月末現在) ※2013年6月1日の株式分割前データ

順位	株主	保有数 (20万株以上)	保有率 (%)
1	永野 恵嗣	781,600	8.25
2	New Media Japan, Inc	508,000	5.36
3	日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	466,200	4.92
4	扶桑薬品工業株式会社	320,000	3.37
5	野村證券株式会社	309,000	3.26
6	日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	286,200	3.02
7	大阪証券金融株式会社	281,200	2.97
8	CHASE MANHATTANBANK	216,175	2.28
9	野村證券株式会社自己振替口	210,000	2.21
10	株式会社アイル	200,000	2.11
大株主上位10位合計		3,578,375	37.79
発行済株式総数		9,468,000	—

株主数:5,321名



- ・大株主比率:37%強
- ・販売、業務提携先企業が大株主
- ・VC比率:1%未満に低下

5. ご参考（企業概要等）

バイオマテリアルによって医療の進展に貢献する

当社「医療製品」には、感染リスク否定、扱い易さ、使い勝手など現状のさまざまな医療用マテリアルの課題を克服する力がある

感染症の社会問題化

医療において、
感染リスク、施術の手間、患者負担などが少ない
新規の医療マテリアルの開発が待たれている
例えば、「安全な止血材」の開発

事業領域

「自己組織化ペプチド技術」をもとに
研究試薬販売、医療製品開発、ライセンスを展開

自己組織化ペプチドプラットフォーム技術特許群

自己組織化ペプチド物質特許、自己組織化ペプチドによる細胞培養法特許、
次世代型自己組織化、ペプチド物質特許など

研究試薬販売

- PuraMatrix™
- 次世代型ペプチド

医療製品開発

- 外科領域
 - － 止血材 (TDM-621)
 - － 血管塞栓材 (TDM-631)
 - － 粘膜隆起材 (TDM-641)
 - － 癒着防止材、組織閉塞材
- 再生領域
 - － 歯槽骨再建材 (TDM-711)
 - － 骨、軟骨、腱、心筋、脊椎の再生
 - － 創傷治癒、臍島移植

ライセンス

- 骨再生での適用拡大分野
- DDS分野
 - － タンパク質の徐放
 - － siRNAの徐放

技術基盤：米国MIT(マサチューセッツ工科大学)発の技術

自己組織化ペプチド

- 生理的条件下(中性pH、塩の存在)に置くとペプチド分子同士が規則的に集合し、ナノファイバーとなり、ハイドロゲルを形成するペプチド群
- 1992年、MITのShuguang Zhang博士が発明
- MITが特許権を保有
- MITからライセンス供与を受け、当社が「独占的・全世界事業化権」を保有

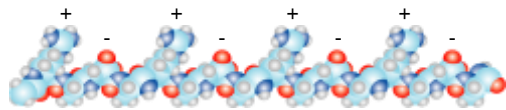
新規の優れた医療用マテリアル

- 操作性：水溶液でゲル化機能を持つ。便利、扱いやすい
- **安全性：生体適合性、生体分解性を有し、体内で馴染みやすい。生物由来品を含まず、ウイルス等の感染リスクが低い**
- 均質性：均一の品質で大量に合成することが可能
- 展開性：幅広いアプリケーションが存在し、医療機器として開発可能

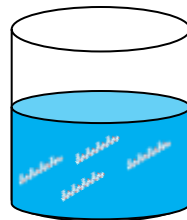
PuraMatrixTM

- 自己組織化ペプチド技術を用いたハイドロゲルの第一世代商品
- **体を構成する必須アミノ酸であるアルギニン(R)、アラニン(A)、アスパラギン酸(D)からなるペプチド**

分子モデル



Ac-R-A-D-A-R-A-D-A-R-A-D-A-R-A-D-A-CONH₂
(R:アルギニン、A:アラニン、D:アスパラギン酸)



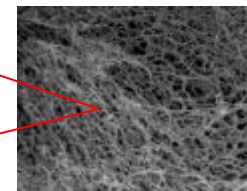
水溶液(酸性)



自己組織化モデル



ナノファイバー



ハイドロゲル

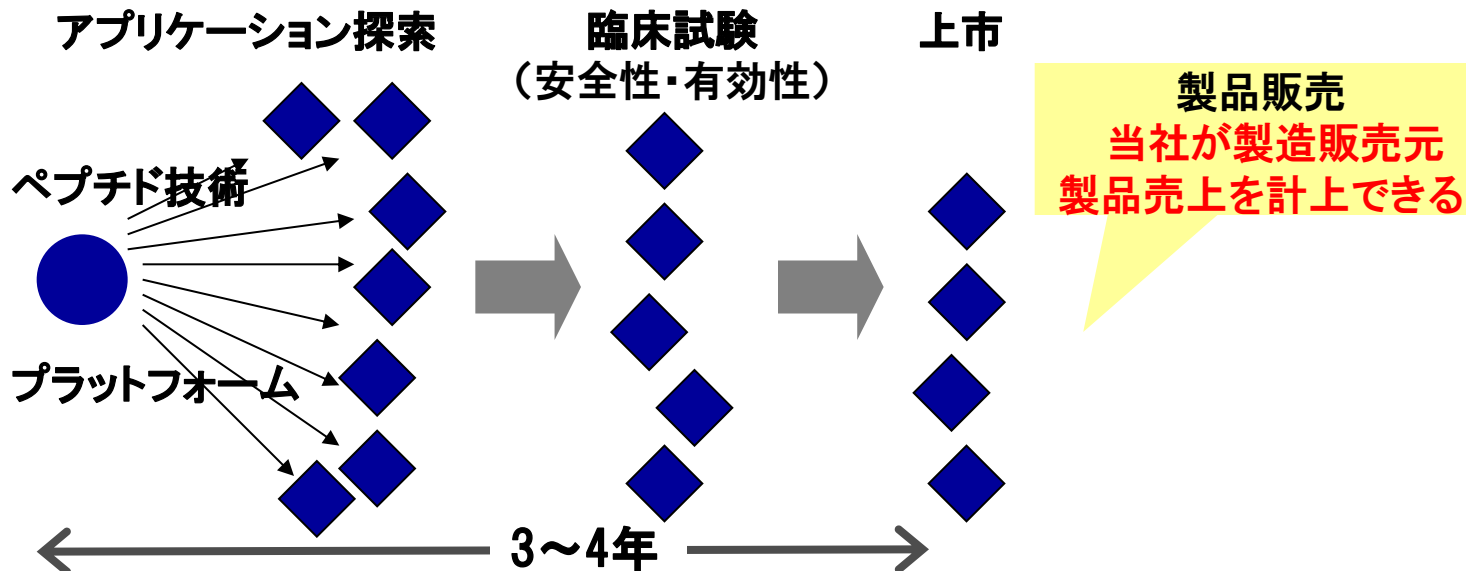


3-D Matrix, Ltd

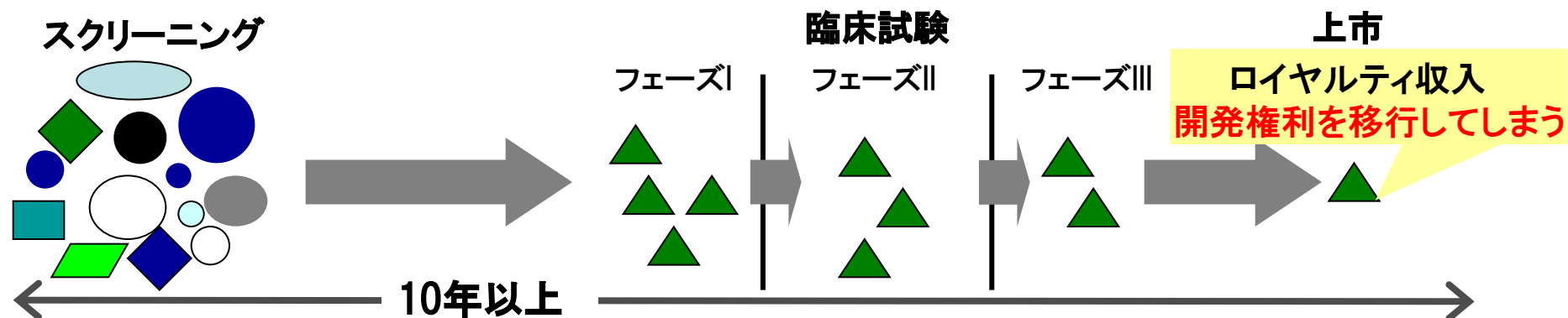
This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

ビジネスモデル 製品開発が低コスト、早期に製品量産

当社 医療機器としての開発：用途拡大により短期・低コストで革新的製品を生みやすい



他社 医薬品の開発：スクリーニングからはじめ、臨床試験も長く、上市まで時間・コスト発生



3-D Matrix, Ltd

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

画期的な止血材を開発中

ピュアスタット[®] 止血材 (開発コード:TDM-621)



米国MITの技術を基に、外科手術全般に使用できる
世界初の新しいコンセプトの「止血材」です。

※2011年5月 製造販売承認申請済み
2013年度中 製造販売承認を取得・販売予定

当社止血材(TDM-621)の特徴

安全性の問題回避だけでなく、既存の糊タイプに見られない機能性により、
現場医師・患者の切実なニーズに広く対応

	TDM-621	溶液タイプ (フィブリン糊)	シート・粉末タイプ (フィブリン、コラーゲン)
感染リスク否定	化学合成	ヒト+ウシ由来	ヒト、動物由来
Informed Consent	不要	要	要
操作性 (準備、操作、リドタイム)	即使用可	使用前2液混合調製	即使用可、但し圧迫必要
リプレース使用	可	不可	不可
術野確保	透明	白色透明	白色で見えない
止血効果	表面皮膜/血管浅部 を閉鎖して止血	接着により止血	粘着物として覆うことで止血
用途の拡張性	内視鏡・腹腔鏡・狭部	なし	なし
術後の除去	生理食塩水で洗浄	困難	困難

従来の外科手術の方法を変える当社止血材(TDM-621)

医療現場のリスク回避、負担軽減のニーズに応える止血材

安全性

- 感染リスク否定
- Informed Consent不要
- 術後の除去可能
- 生体親和性と分解吸収性

止血効果

- 高い止血効果
- 適用範囲が広い
- 内視鏡、腹腔鏡で効果を発揮

負担軽減

- 手術時間の短縮
- 術野、止血状態確認可
- 術式の妨げを回避
- 次のアクションの速さ
- 予防的使用可能

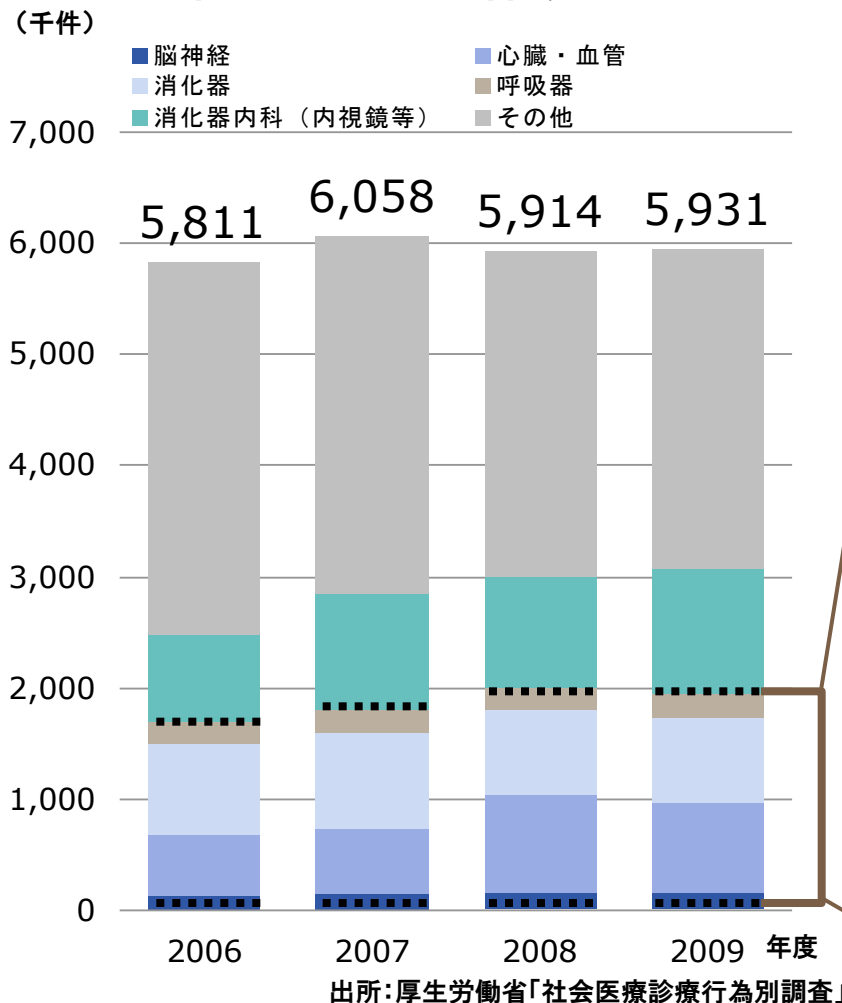
当社止血材(TDM-621)

止血材の
ファーストチョイス

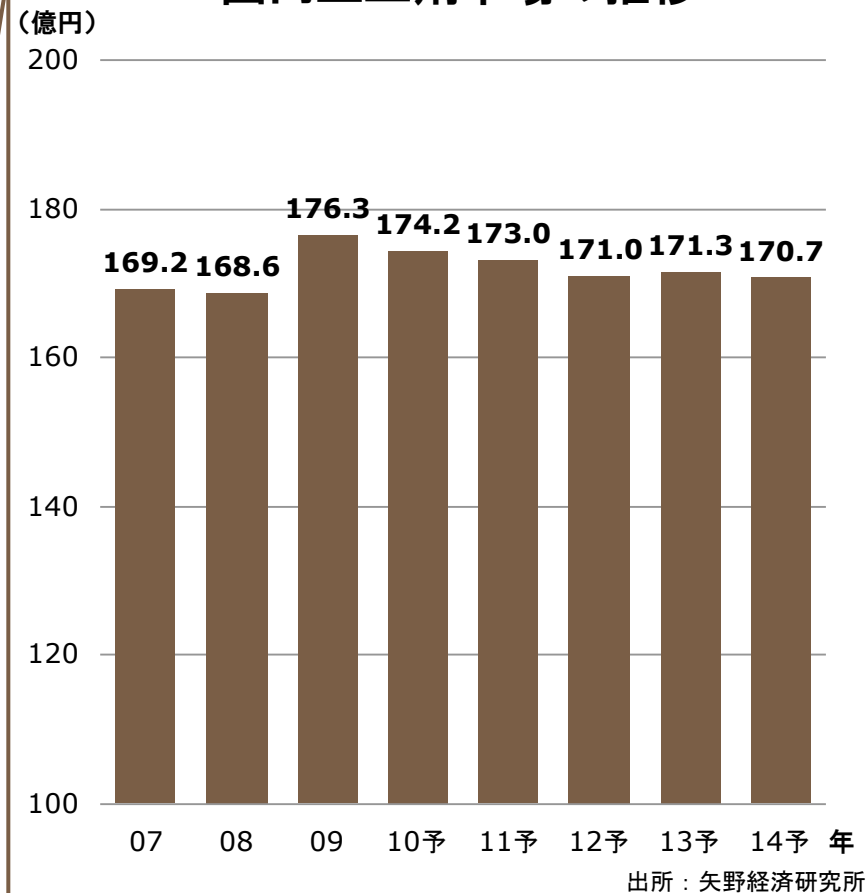
止血剤の市場規模(国内)

シェア獲得及び潜在市場への浸透が十分期待できる

国内外科手術件数の推移



国内止血剤市場の推移



3-D Matrix, Ltd

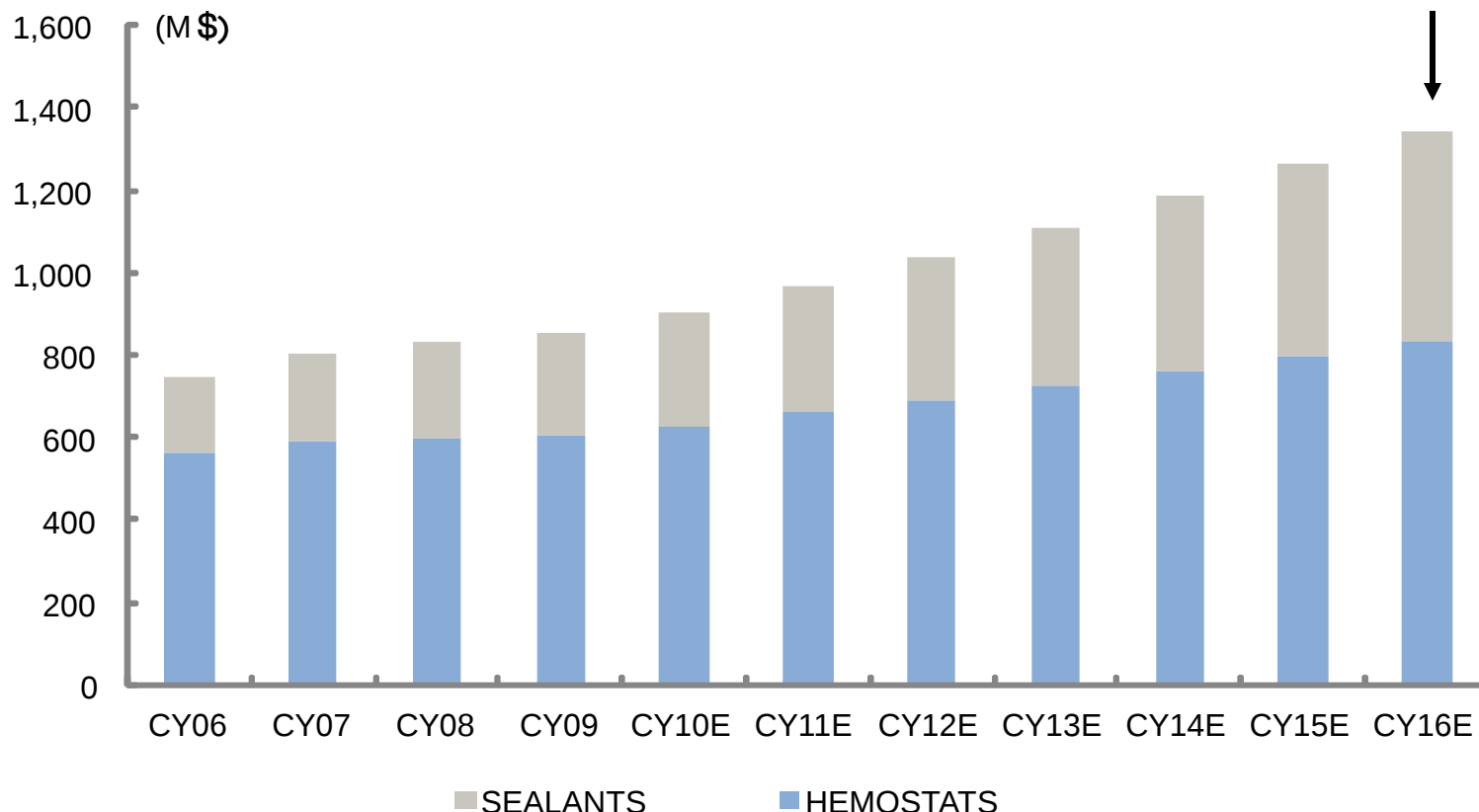
This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

止血剤の市場規模(海外)

米国では外科手術に止血剤が広く利用され、今後の高齢化に伴う手術件数の増加により、年平均6%成長と予想、EUも米国に匹敵する規模に成長へ

米国止血剤市場の推移

2016年 米国:1,344M\$ (出所:iDATA)



歯槽骨再建材(TDM-711)

歯科インプラント領域向け製品

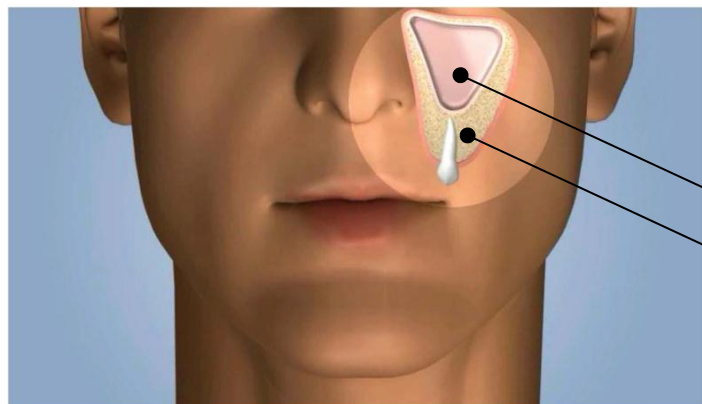
➤ 米国食品薬品局(FDA)よりIDE承認を受け米国で臨床試験中

臨床試験

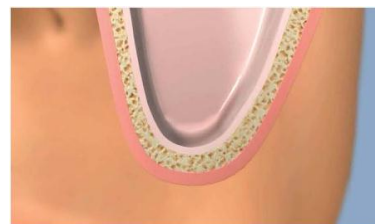
2012年6月 Forsyth Institute(ハーバード大学附属病院)
において最初の15症例を実施、経過観察中

IDE : Investigational Device Exemption
治験医療機器に対する一部規則の適用免除

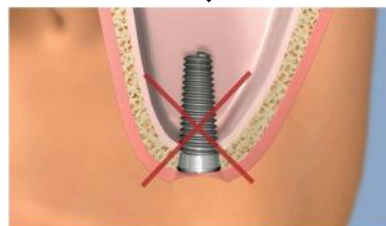
上顎洞底挙上術
(サイナスリフト)



上顎洞
歯槽骨

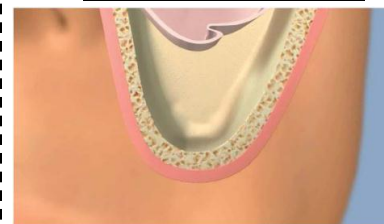


退縮した歯槽骨

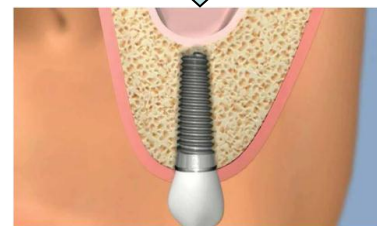


歯槽骨が退縮し、
インプラントが施行できない

サイナスリフト



骨形成のために
上顎洞に骨再建材を充填



再建された歯槽骨に
対してインプラントを施行

画像出典:

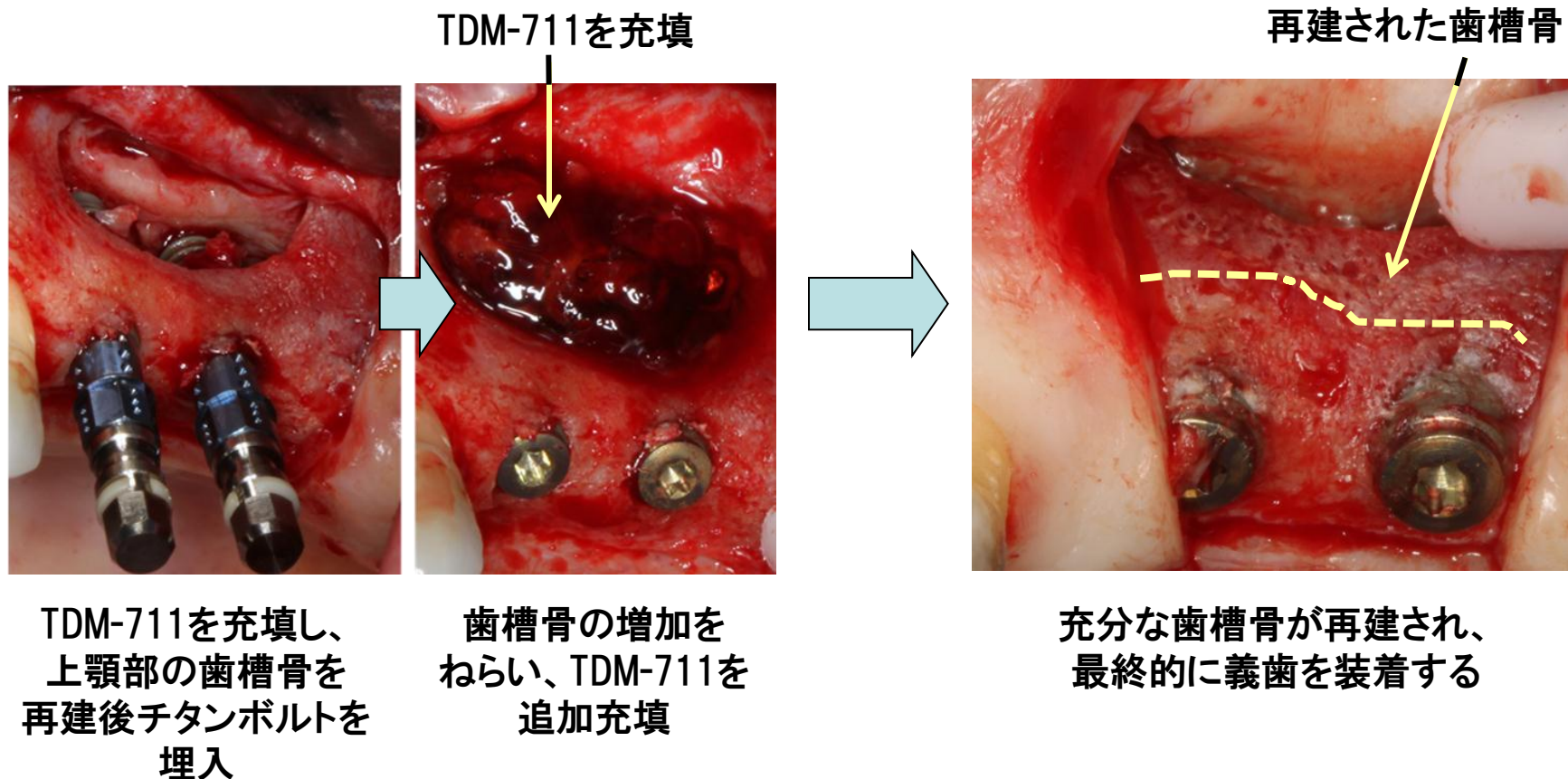
<http://www.sanramonoralsurgery.com/bonegrafting.htm>

3-D Matrix, Ltd

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

歯槽骨再建材(TDM-711)

治験症例



資料提供: Forsyth Institute

粘膜隆起材(TDM-641)

(例)粘膜下へのゲル注入によるポリープ切除術

粘膜下層に注入することにより、病巣を固有筋層から浮かせて高周波を用いて切り取る。病巣切除時の止血効果も併せて得られ、手術の難易度・リスクを下げることができる。

対象市場(国内)

内視鏡による病巣切除術件数:年間約80万件、10%で増加 (厚生労働省調査)

動物試験: ブタ胃粘膜に対するTDM-641を用いた内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)



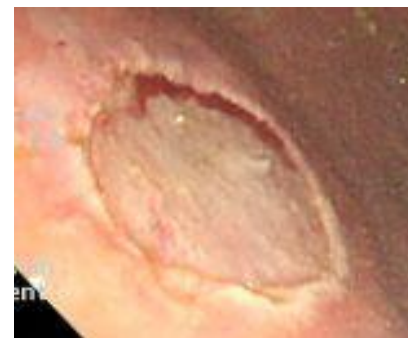
① 切除部位のマーキング



② 粘膜隆起後



③ 電気メスによる切除



④ 切除後

3-D Matrix, Ltd

血管塞栓材(TDM-631)

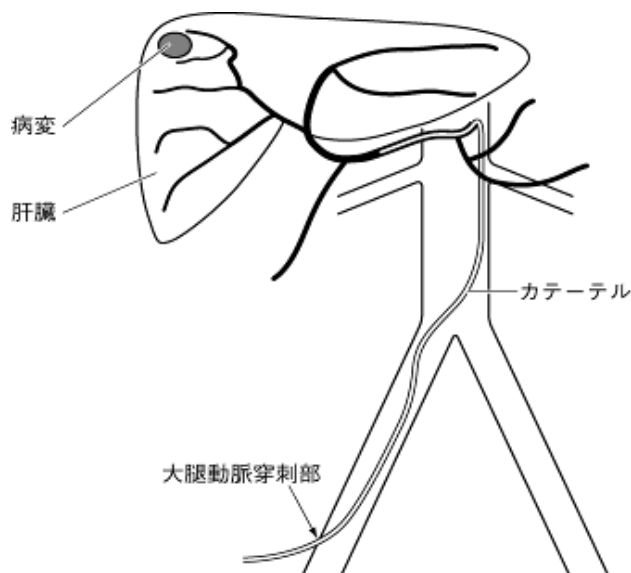
(例)肝動脈塞栓療法

目的の部位(腫瘍のすぐ近くの動脈)までカテーテルを挿入し、腫瘍への栄養血管(肝動脈)に注入。外科的切除の際に出血のリスクを最小限に抑えるとともに、「兵糧責め」にすることによって腫瘍を死滅させる効果も見込む。

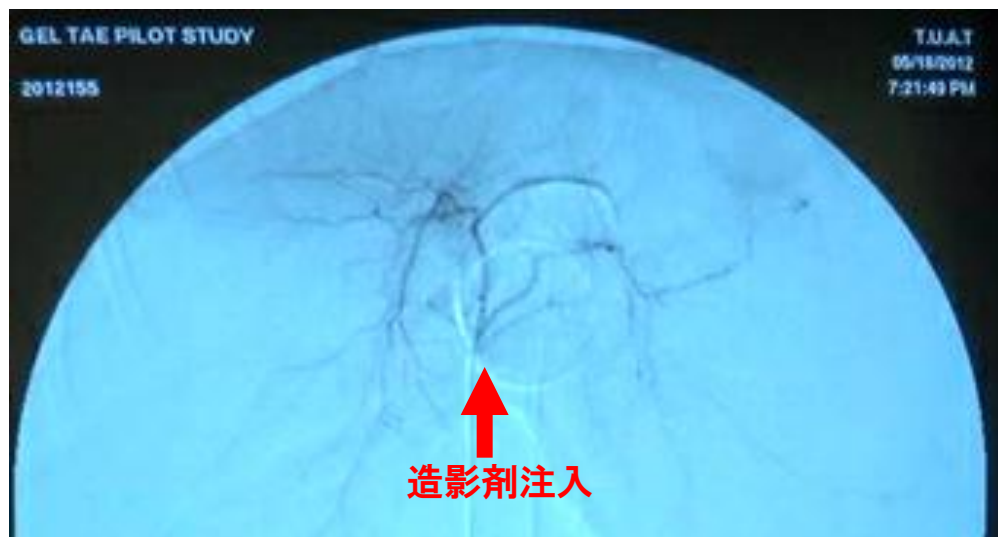
対象市場(国内)

頭部、胸腔・腹腔の手術件数:113,685件/年

抗癌剤、子宮筋腫への動脈塞栓の手術件数11,526件/年 (厚生労働省調査)



肝臓がん周辺の動脈塞栓



動物試験:TDM-631を用いたイヌ肝動脈塞栓

3-D Matrix, Ltd

創傷治療材(TDM-511)

皮膚創傷治療製品(医療機器)

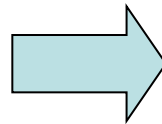
- 効果
1. 局所止血； 皮膚(表皮、表皮・真皮)からの出血に対する迅速な止血
 2. 創傷治療； 皮膚の創傷部の再生環境を整え、創傷治療を促す。

米国食品薬品局(FDA)へ510(k)申請を行うために前臨床試験中。

➤ 510(k)；市販前届(既存の医療機器と同等の機能を有する製品の登録制度)

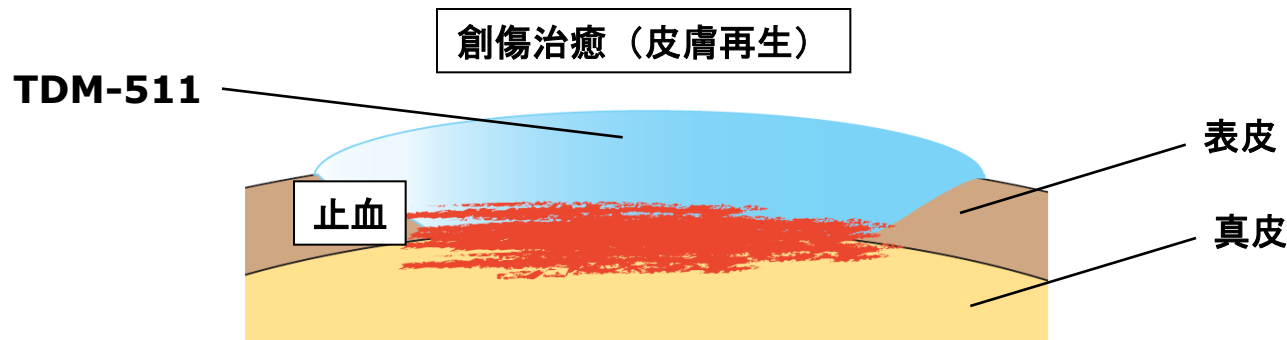
TDM-511の使用効果

- ・低侵襲な止血手技
- ・適度な湿潤環境の保持
- ・組織修復
- ・炎症による組織損傷の抑制



ベネフィット

- ・痛み軽減
- ・迅速な回復
- ・高い審美性(傷跡が残りにくい)
- ・合併症の低減



技術開発:基礎研究

100以上の国内・海外の研究機関、大学と連携

MITからライセンスされた
基本技術



日米約100の共同研究機関で
蓄積された応用技術

各研究機関・大学とマテリアル供給契約(MTA)を締結
グローバルなスケールで医療製品を開発中

EU



日本・アジア

米国



MIT
3-D Matrix, Inc.

当社

MITからライセンスされた独占的・全世界事業化権を活用

当社の特徴・戦略

特徴・強み

- 米国MITの先端技術「自己組織化ペプチド」の独占的・全世界事業化権を保有
- 同技術から医療用マテリアルを開発、安全性、生体適合性に優れる
- 第一パイプラインである手術用止血材は医療機器として国内治験終了、製造販売承認申請済
- ひとつのシーズから多様な用途が医療機器として開発でき開発期間が短い
- 内外の研究機関等と共同研究、新規用途探索、実証実験によりパイプライン拡充

販売戦略

- 社会的ニーズ、医療現場のニーズに応え手術の方法を変え得る画期的製品
- 国内市場は中規模、しかし既存製品が適応できない用途に浸透可能
- 国内での製造・販売体制は確立済み
 - ✓ 最終製品の仕切り販売
 - ✓ 最低取引金額の保証(10年間)
 - ✓ 承認取得直後の購入額について合意
- 米国および欧州は高成長の巨大市場、米国では第二パイプラインの臨床試験開始

早期の収益化・高成長

沿革：米国で生まれ、日本で発展

弊社永野会長が
コンサルタント時代に
3-D Matrix, Inc.に
出資者として参加

1990年代～

米国MIT(マサチューセッツ工科大学)で
「自己組織化ペプチド」が発明される

2001年5月

MITのScientific Foundersにより、開発・事業化を目指し
米国に3-D Matrix, Inc. が設立、MITから独占事業化権を得る

2004年5月

米国3-D Matrix, Inc.からライセンスを受け、当社が設立される
研究機関との共同研究拡大、複数の用途・開発候補を特定

2007年10月

MIT・Scientific Foundersと協議、開発を推進するため米国3-D Matrix, Inc.を株式
交換で子会社化、全世界で独占的に事業展開可能に

2008年以降

日米でのパイプライン決定、安全性データ取得、GMP製造完成、ヒト臨床データ取得

マネジメント(コンサルタント+医薬業界出身)

永野 恵嗣:代表取締役会長 兼 子会社3-D Matrix,Inc.取締役CEO

エクソン、ベイン・アンド・カンパニーを経て、2000年にニュー・メディア・ジャパン・インコーポレイテッド

日本における代表に就任。ベイン・アンド・カンパニーの東京事務所パートナー、ベイン韓国事務所設立にあたり中心的な役割を果たし、韓国事務所長を四年間つとめる。2004年5月当社設立、代表取締役会長就任。2007年10月3-D Matrix, Inc. 取締役CEO就任。ベインでは様々な業種のクライアントとのプロジェクトをリードしたが、通信、ハイテク、エンターテインメント、ヘルスケア業界での経験は特に豊富。東京大学工学部卒(化学工業専攻)、コロンビア大学経営学修士(MBA)。

高村 健太郎:代表取締役社長

医療機器、生体材料、医薬品の開発に長年携わり、1999年日本で初めてヒト細胞・組織を用いた製品を開発する企業としてジャパン・ティッシュ・エンジニアリング株式会社(J-TEC)の設立に携わり、取締役研究開発部長に就任。

2002年より株式会社メディネット取締役COOとして細胞医療支援事業を展開、2003年10月株式上場(東証マザーズ)を果たす。

2005年より当社取締役就任、2007年7月より現職。北里大学理学部卒(生物化学専攻)、東京医科大学医学博士。

岡田 淳:取締役副社長

98年よりベイン・アンド・カンパニーの東京事務所においてコンサルタントとして勤務。

ベンチャーキャピタルのバイオ投資支援、製薬企業の開発支援(1年間常駐)なども含め多数のプロジェクトに携わる。

2005年よりスリー・ディー・マトリックス・ジャパン経営企画担当、2007年7月に取締役就任。東京大学法学部卒、フランスINSEAD校経営学修士(MBA)。

新井 友行:取締役

1996年よりプロネクサス(ディスクロージャー専門会社)に勤務、多数の上場企業・IPO予定企業の案件に携わる。

2006年よりCSBAコンサルティングにてIPO・内部体制管理のコンサルティングに従事、2007年にCSBAインベストメント取締役に就任。その後、2008年にはアスコットのIPO(JASDAQ)を果たす。

2008年よりスリー・ディー・マトリックス、コンプライアンス・経営企画担当を経て2012年7月より取締役就任。

Scientific Founder: MITのShuguang Zhang博士

Shuguang Zhang, Ph.D.

3-D Matrix, Inc. Director/Associate Director, Center for
Biomedical Engineering, MIT

自己組織化ペプチド発明者であり、米国3-D Matrix, Inc.の創業者



Shuguang Zhang博士 恩師のAlexander Rich教授

本資料の取り扱いについて

- 本資料は、株式会社スリー・ディー・マトリックス(以下、当社という。)をご理解 いただくために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
- 本資料は当社の事業及び業界動向についての当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は様々なリスクや不確かさが内在しております。
- 既に知られたもしくは今だに知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は将来の展望に対する表明及び予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、更に悪いことも有り得ます。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、平成25年6月14日現在において利用可能な情報に基づいて当社により平成25年6月14日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

お問い合わせ先:経営企画室または「当社ホームページ上のIR関連問い合わせ」まで。



株式会社スリー・ディー・マトリックス
～ A Medical Technology Company ～

ご清聴ありがとうございました。

2013年6月